

## 【宇城市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

平成30年8月に「宇城市教育の情報化計画」を策定し、ICT環境の整備を進めてきた。本計画では、情報活用能力を言語能力と同様に「学習基盤となる資質・能力」と位置付け、学習活動を充実させるために、これまで整備したICT環境をいかに有効活用するかが重要な課題である。

本市では、子どもたちが自分の人生をデザインする力を身に付け、情報化社会に主体的に対応できるよう、教育のICT化を推進している。ICT機器は、授業の質を向上させるだけでなく、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを支援する役割を果たす。これらの取り組みを通じて、子どもたちの学習意欲や人生のデザイン力を育み、将来の社会を切り拓くためのスキルを身につける基盤を築くことを目指している。

#### 2 GIGA第1期の総括

##### (1) 経緯と現状

本市では、平成30年8月に策定した「宇城市教育の情報化計画」や令和元年12月に文部科学省が発表した「GIGAスクール構想」に基づき、ICT環境の整備を推進してきた。

具体的には、平成31年に学校にICT支援員を配置し、その後、全児童生徒に1人1台のタブレットを配備した。また、全小中学校に校内ネットワークを整備するとともに、家庭へのタブレットの持ち帰り学習の環境を整備した。なお、当初、タブレットの整備は令和元年度から令和5年度までを目標として段階的に進める計画であったが、災害時や感染症による学校の臨時休業といった緊急時にも子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、計画を前倒しして令和2年度に完了した。

##### (2) 課題

1人1台のタブレットにおける破損・紛失・故障時の対応やメンテナンス、学校間でのICTを活用した学習への取り組みの格差、児童生徒がインターネットを利用する際の安全対策や個人情報の管理、アクセス制御等が課題となっている。

#### 3 1人1台端末の利活用方策

本市では、令和7年度に全児童生徒の端末更新を計画している。各学校や他市町村との連携を行いながら更新作業を進め、児童生徒一人一人に端末環境を引き続き整える。

##### (1) 1人1台端末の積極的な活用について

各校の教職員を対象に、毎年ICT研修を実施している。今後も状況に応じた課題に対応する研修を行い、教職員の受講をさらに推進することで、端末の積極的な活用を促し、学習活動の質を向上させる。

##### (2) 個別最適・協働的な学びの充実について

「児童生徒が主体的に学び、考えをまとめ、発表・表現する力」と、「意見を交換しながらより深く学ぶ力」を育むため、学習支援ソフト等を整備してきた。学習支援ソフトでは、実力テストの結果を反映した個別のドリルを提供する仕組みがあり、理解度や進度に応じた学習が可能である。今後も本市の現状を把握しながら、全国の先進的な取り組みや域内の他市町村の事例を積極的に提供し、学校に配置しているICT支援員と連携し、これらを授業に取り入れ、学びの充実を図る。

##### (3) 全ての児童生徒への学びの保障について

教育支援センター等を利用している児童生徒や、何らかの理由で学校に登校できない児童生徒に対して、授業のオンライン配信や教職員とのやり取りにICTを活用し、学校と児童生徒をつなぎながら学びを保障する。また、外国籍の児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒への学びの保障として、端末を活用する。心の健康観察や心のアンケートを

実施し、児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、適切な支援につなげるために、1人1台の端末を利用した教育相談を充実させる。

(4) 端末の破損・紛失・故障時の対応やメンテナンスについて

児童生徒の学びを止めることがないようにメンテナンスが必要となった際の対応体制を整備するとともに、すぐに端末を提供できるよう一定数の代替機を確保しておく。また、児童生徒や教職員、保護者に対して、適切な取扱いを行うよう通知等により定期的に指導を行う。

(5) セキュリティ対策について

児童生徒が安全安心にインターネットを利用できるようフィルタリングソフト等による安全対策を行う。また、セキュリティポリシーに基づく個人情報管理やアクセス制御等のセキュリティ対策を行う。